

ごあいさつ

法蔵寺筆頭総代

大島 茂 様



明けましておめでとうござい
ます。年頭に当たり謹んで皆々
様のご健康とご多幸をお祈り申
し上げます。

歳 法

会津戦争の余波により灰燼に
帰した菩提寺でしたが、永年に
亘る御檀家皆様方のご理解とご
協力、歴代ご住職様の弛まぬご
精進により、現在名実相伴って
の寺院となっておりますこと、
心より感謝申し上げます。

さて、私が中学生の頃、父の
使いで菩提寺に参上のおり、三
つ葉葵の紋が使われていること
にビックリ。「御前様、
山門の棟にあ
るご紋は、
徳川家のも
のではない
のですか?・・・」



徳川本家 三つ葉葵

と先代のご住職様に尋ね合わせ
たことがありました。

「その通りです。家康公は、浄
土宗の信徒で、法然上人の教え
によって、東照宮に祭られるほ
どの偉業を成し遂げたのです。
その報恩として、浄土宗の寺院
だけにご紋の使用を許可された
のです・・・」とお話でした。

昭和五十八年のNHK大河ド
ラマ「徳川家康」。戦いに臨むた
びに「厭離穢土(えんりえど)、
欣求浄土(こんぐじょうど)」『煩
悩に穢れた現世を嫌い離れ、極
楽浄土に往生することを心から
願うの意』の旗印が戦場にたな
びく。武田信玄公の「風林火山」
に代表される勇ましい旗印とは
大分違う。どうということのだ
ろうと当時は思いました。

時が流れ葬儀に参列すること
が多くなる。読経を聞きながら
はっと気づいた。なんとご住職
が亡き方に引導を渡す際の経文
と文言が同じではありませんか。
家康公は、「厭離穢土、欣求浄
土」の教えを旗印にする事によ
り「自分は他の武将と違う『泰
平の世の実現』のために戦って
いる」事を訴え、天下を統一、
三百有余年の平和を築かれたこ
とを得心。本堂の天井の「杏葉
(ぎょよう)と三つ葉葵」のご紋
が光輝いて見えたのでした。

闘争のなかに身をおいているの
ではないでしょうか。国際情勢
しかり、国内政治しかり、そし
て日々の経済活動さえも他者と
の闘争という側面を持っており
ます。日ごろそんな世界に身を
おかざるを得ない私たちであつ
ても、浄土宗の説く「厭離穢土、
欣求浄土」の教え・平等の大慈
悲の世界(浄土)を忘れてはなら
ないし、願いつけなければなら
ないことだと思っております。
新年にあたり祖師法然上人の
教えをよりどころとし、新たな
気持ちで毎日を歩んでいきたい
ものです。

御檀家皆様におかれましても
菩提寺の行事にはより多くの参
加をご期待し、お願いする次第
です。どうか、本年が平和でよ
い年でありますように。 合掌



〈お知らせ〉
住所移転の際は
必ず菩提寺に
ご連絡下さい。